

# 再録

12年前の記事



赤旗 読者通信 改題  
2012.9.2  
通巻No.1116  
日本共産党  
小矢部市委員会  
市内七社 245  
FAX 67-4842

何でも  
ご相談を



市議会議員  
砂田喜昭  
Tel 67-4322



参議院議員  
井上哲士

衆議院議員  
笠井あきら

地方政治と市民運動  
の専門誌  
議会と  
自治体

禁無断転載  
複写配布

## 美術館問題に関する民生文教常任委員会報告

美術館建設について議論してきた市議会民生文教常任委員会(砂田喜昭委員長)は8月27日、全員協議会でその討議結果を報告しました。その全文は次の通りです。

### 【議論の経過】

本年2月に小矢部市美術館等施設建設調査検討委員会から、美術館等施設のあり方に関する検討結果としての最終報告書が提出されております。このことを所管する民生文教常任委員会として、今回の寄付申出者と懇談会を7月19日に開催し、その後7月24日には参考人制度に則り、小矢部市美術

館等施設建設調査検討委員会の委員長はじめ3名を参考人としてお招きし、美術館建設の必要性・運営に関して調査事項とした所管事務調査を行いました。これをふまえて、委員会として8月9日に取りまとめた討議結果を報告します。

### 【とりまとめの前提】

この討議をとりまとめるにあたって、前提としたことは次の二つのことです。  
①委員会として美術館建設の是非についての結論を出すものではないこと。  
②市長が最終的にその判断をさ

## 市職員による検討チーム

「建設を是」と中間報告  
市職員によるアートハウスの施設調査検討チームが8月20日に市長に提出した中間報告も市議会全員協議会で発表されました。アートハウスとは英語で、美術館のこと、国内には例えば資生

堂「アートハウス」などがあります。市は従来型の美術館ではなく、市民に開かれたローコストな美術館をイメージさせるためにこんな表記にしたと説明しています。  
検討チームではクロスタンドおやべと一体ものとしての建設を是とし、施設運営の要となる職員の配置は不可欠としています。

## 砂田委員長にインタビュー

編集部 砂田さんは3月議会で既存の、クロスタンドおやべや道の駅など市施設と近隣の美術館の活用ということを真剣に考えてもよいのではないかと述べていましたが、こんどの委員会報告では若干ニュアンスが違っているように思いますが、いかがでしょうか。  
砂田委員長 議会として美術館建設の最終判断は市長の提案を受けてからになります。その前に十分検討すべきだと考える点を、今回は提起しました。委員会での議論を通じて、私自身、認識を新たにすることが一つあります。

①美術はたんに趣味の世界ではなく、人の成長にとって創造性と批判的精神を養う上で大切だということ。スポーツが体を鍛えること

ともにスポーツマンシップを身につけ、人の成長に資することに通じます。市内にスポーツ施設がいくつもありますが、美術館も同じように考えてもよいのではないかと述べています。  
②学校教育で美術の時間が削られています。美術館がある砺波市や金沢市では一つの学年が全員、美術館へ出かけて鑑賞活動をしています。小矢部市では蟹谷中学が福光美術館へ出かけているだけで、他の学校ではできていません。  
そこで委員会報告ではこれらのことが実際に可能となるような運営、職員の配置ができるのかなど4点の検討課題を提起したわけです。なお検討チームの中間報告では小学2年生全員がアートハウス施設体験鑑賞、創作をできるようにしたいとしています。

れるに際して、次の諸点について十分な検討をされることを要望するものとしました。  
【検討すべき諸点】  
それは次の4点です。  
1 美術館を、市の施策の中でどのように位置づけるのか、近隣の類似施設には無い特色を明確にして、それにふさわしい運営ができるのか、子どもたちの創造性、個性を生かした自己表現力などを育てることができるか、また、高齢者が臨床美術などを通じて五感を発達させることができるかが問われる。

## 日本母親大会in新潟

8月25、26日に新潟で開かれた日本母親大会に参加したささんに感想を寄せてもらいました。



### 「TPPと私たちの生活」シンポジウムに参加

私はTPPと私たちの生活というシンポジウムに参加しました。500名あまりの参加で熱気に溢れていました。コーディネーターはNHKアナウンサーの古屋和雄さんでした。

JA新潟中央会の高橋一成さん、全国保険医団体連合会事務局次長の寺尾正之さん、全国労働組合総連合の小田川義和さん、日本農業新聞の金哲殊さんがそれぞれ

の立場からTPP反対を訴えられました。  
驚いたのは、いまアメリカで貧困ビジネスがふえていることです。公的医療保険がないので、医療がいちばん人々を苦しめている。病気になったら医療費が払えず破産する人が多い。日本ではお金のない人には金を貸さないが、アメリカではお金のない人に貸して、払えないとリクルートを通じて仕事を斡旋する。トラックの運転手だということで応募したら、戦場へ連れて行かれてそこで命がけの運転に従事させられたそうです。貧困を食い物にして大手会社がグルになって金儲けをしている実態を聞いて、TPPは絶対反対と改めて思いました。

参加者の一人がここに集まっている人はみんな関心があり、勉強している人だが、まだここに参加していない、隣近所のおばちゃんにも話しかけていると発言されました。が、本当にそうだなと思いました。  
4時間近くの長い時間でしたが、古屋和雄さんがテレビに出ておられるのと同じ感じで進行され、退屈せずに終わりました。